



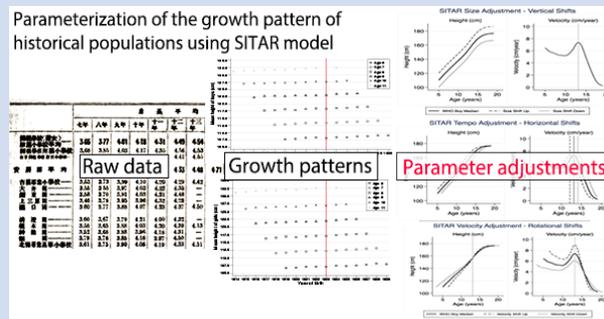
過去の研究実績      現在、注力している研究      今後取り組んでいきたい研究

- ① 歴史統計を用いた新たな社会経済データベースの構築
- ② ①に適した計量経済モデルの開発・実装・応用
- ③ ①に適した新たな自然実験の考案と実証戦略の提案

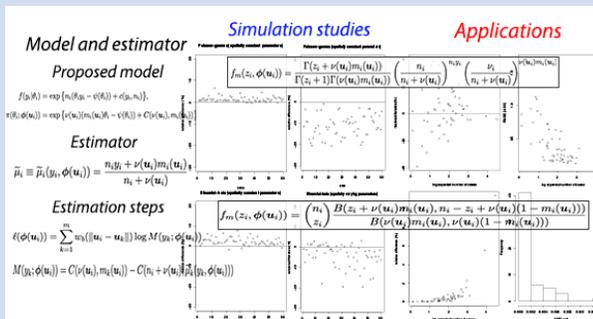
歴史統計から新たに構築したデータベース、および適切に設計した計量経済モデルの統計解析を通じて、以下のような研究課題に取り組んでいます：

- A) 胎児期起源仮説 (fetal-origins仮説) の検証
- B) 子どもの発育阻害 (child stunting) 要因の特定
- C) 人的資本形成における公害の長期的影響の解明

長年に亘る人的資本形成の過程の解明



社会経済データ解析技術の開発と応用



- ① 新規性・独創性のある社会経済データベースの構築
- ② それに対する適切な計量経済モデルの開発と応用

長年に亘る社会経済データベース (特に人的資本・疾病関連) を新たに構築し、適切に設計した計量経済モデルの統計解析を通じて、産業・社会ニーズに応じた制度設計、経済開発に役立つ知見を提供します。